

2018年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月9日

上場会社名 株式会社ネットマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 6175 URL <http://www.net-marketing.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 邦久
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 管理本部管掌(氏名) 長野 貴浩 (TEL) 03-6408-6896
 四半期報告書提出予定日 2018年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2018年6月期第2四半期の連結業績(2017年7月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期第2四半期	5,021	8.0	304	47.4	315	53.5	220	59.2
2017年6月期第2四半期	4,648	—	206	—	205	—	138	—

(注) 包括利益 2018年6月期第2四半期 221百万円(48.5%) 2017年6月期第2四半期 149百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期第2四半期	31.33	29.56
2017年6月期第2四半期	21.37	—

- (注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を2017年6月期より行っているため、2017年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2017年6月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できていないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期第2四半期	3,637	1,856	51.0
2017年6月期	3,908	1,613	41.3

(参考) 自己資本 2018年6月期第2四半期 1,856百万円 2017年6月期 1,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年6月期	—	0.00	—	—	—
2018年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年6月期の連結業績予想(2017年7月1日~2018年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,296	14.5	540	22.4	538	27.2	371	25.0	53.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年6月期2Q	7,110,000株	2017年6月期	6,994,000株
② 期末自己株式数	2018年6月期2Q	73株	2017年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年6月期2Q	7,046,871株	2017年6月期2Q	6,492,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料及び説明会内容の入手方法)

当社は、2018年2月14日(水)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関向けに決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料は、2018年2月9日(金)に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

(日付表示の変更について)

当第2四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年7月1日から2017年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善に伴い個人消費に持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな景気回復基調が続いております。

当社グループが事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2016年の1年間で推計1億84万人(前年比38万人増)、人口普及率は83.5%(前年比0.5%増)と高い水準を維持しております(注)。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの普及率も51.0%と前年と比べ2.1%上昇しております(注)。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

こうした環境のもと、当社グループは、中核事業である広告事業の拡販、「Omiai」を主軸としたメディア事業の収益基盤の確立を中心に、事業拡大に向けた取り組みを進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は50億21百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益は3億4百万円(前年同四半期比47.4%増)、経常利益は3億15百万円(前年同四半期比53.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億20百万円(前年同四半期比59.2%増)となりました。

(注) 出所：総務省「平成28年通信利用動向調査」

報告セグメントの業績は以下のとおりであります。

<広告事業>

広告事業は、主にアフィリエイト広告に特化したエージェントとして、広告プロモーションの戦略立案から運用支援までを一貫して提供するアフィリエイトエージェント事業を主力のサービスとして提供しております。

当事業においては、エステや人材関連等を扱う「サービス」カテゴリーが好調に推移した結果、当事業の売上高は35億14百万円(前年同四半期比1.4%減)、セグメント利益は2億66百万円(前年同四半期比6.3%増)となりました。

<メディア事業>

メディア事業は、Facebook連動型マッチングサービス事業として恋愛マッチングサービスの「Omiai」を提供しております。

「Omiai」につきましては、持続的な収益の拡大を実現するため、サービスの拡充や効率的な会員獲得手法の確立に取り組んでおり、2017年12月にはサービス開始以降の累計会員数が269万人を突破いたしました。

なお、ソーシャルジョブマッチングサービス「Switch.」につきましては、2017年9月1日付で会社分割により株式会社オープンキャリアへ承継しております。

以上の結果、当事業の売上高は15億7百万円(前年同四半期比39.1%増)、セグメント利益は2億61百万円(前年同四半期比119.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億70百万円減少し、36億37百万円となりました。これは主に売掛金の減少4億38百万円等によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億12百万円減少し、17億81百万円となりました。これは主に買掛金の減少5億34百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ2億42百万円増加し、18億56百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億20百万円を計上したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.3%から51.0%となりました。

②キャッシュフローの状況の分析

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は23億52百万円と前連結会計年度末と比べ1億90百万円(8.8%)増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億16百万円(前年同四半期は1億93百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上3億24百万円、売上債権の減少額4億38百万円、減価償却費39百万円が計上された一方で、仕入債務の減少額5億34百万円、法人税等の支払額1億3百万円が計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2百万円(前年同四半期は27百万円の支出)となりました。これは主に、事業分離による収入30百万円があったものの、無形固定資産の取得による支出18百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、24百万円(前年同四半期は52百万円の支出)となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入20百万円があったものの、長期借入金の返済による支出44百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月期の連結業績予想について、2017年8月10日付で公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている当社の業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,243,671	2,439,912
売掛金	1,233,000	794,401
その他	40,405	54,005
貸倒引当金	△12,755	△6
流動資産合計	3,504,323	3,288,314
固定資産		
有形固定資産	16,550	9,358
無形固定資産	120,829	68,358
投資その他の資産	266,390	271,751
固定資産合計	403,770	349,468
資産合計	3,908,094	3,637,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,431,956	896,963
1年内返済予定の長期借入金	87,509	82,511
未払法人税等	113,910	116,641
その他	420,788	485,380
流動負債合計	2,054,164	1,581,496
固定負債		
長期借入金	240,016	200,020
固定負債合計	240,016	200,020
負債合計	2,294,180	1,781,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,345	376,785
資本剰余金	356,345	366,785
利益剰余金	875,981	1,096,772
自己株式	—	△101
株主資本合計	1,598,672	1,840,242
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,241	16,023
その他の包括利益累計額合計	15,241	16,023
純資産合計	1,613,914	1,856,265
負債純資産合計	3,908,094	3,637,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)
売上高	4,648,233	5,021,762
売上原価	3,493,783	3,505,377
売上総利益	1,154,450	1,516,384
販売費及び一般管理費	948,043	1,212,139
営業利益	206,406	304,245
営業外収益		
受取利息	12	12
貸倒引当金戻入額	3,670	12,749
その他	85	145
営業外収益合計	3,768	12,907
営業外費用		
支払利息	1,038	699
為替差損	1,735	345
株式公開費用	1,149	—
その他	393	137
営業外費用合計	4,315	1,183
経常利益	205,858	315,969
特別利益		
事業分離における移転利益	—	8,807
特別利益合計	—	8,807
税金等調整前四半期純利益	205,858	324,776
法人税、住民税及び事業税	73,393	107,181
法人税等調整額	△6,257	△3,195
法人税等合計	67,135	103,986
四半期純利益	138,723	220,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,723	220,790

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)
四半期純利益	138,723	220,790
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,514	782
その他の包括利益合計	10,514	782
四半期包括利益	149,237	221,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,237	221,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	205,858	324,776
減価償却費	33,672	39,660
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,670	△12,749
受取利息及び受取配当金	△12	△12
支払利息	1,038	699
株式公開費用	1,149	—
事業分離における移転利益	—	△8,807
売上債権の増減額(△は増加)	354,828	438,599
仕入債務の増減額(△は減少)	△425,879	△534,992
その他	40,211	73,212
小計	207,196	320,386
利息の受取額	21	16
利息の支払額	△951	△697
法人税等の支払額	△12,376	△103,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,890	216,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△6,014	△6,006
有形固定資産の取得による支出	△9,703	△1,189
無形固定資産の取得による支出	△1,932	△18,200
事業分離による収入	—	30,000
その他	△9,778	△7,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,427	△2,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,924	△44,994
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	20,880
自己株式の取得による支出	—	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,924	△24,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,537	783
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,076	190,233
現金及び現金同等物の期首残高	1,322,100	2,162,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,446,177	2,352,865

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,564,301	1,083,931	4,648,233	—	4,648,233
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,488	1,488	△1,488	—
計	3,564,301	1,085,419	4,649,721	△1,488	4,648,233
セグメント利益	250,924	119,213	370,137	△163,731	206,406

(注) 1. セグメント利益の調整額△163,731千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,514,413	1,507,349	5,021,762	—	5,021,762
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	107	107	△107	—
計	3,514,413	1,507,456	5,021,869	△107	5,021,762
セグメント利益	266,622	261,697	528,319	△224,073	304,245

(注) 1. セグメント利益の調整額△224,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。